

# 広聴・広報活動と情報公開

原子力機構は、国民の皆様のご理解と社会からの信頼を基にして研究開発を進めています。このため、環境に関することを含め、積極的に情報を発信し、また、地域の皆様との双方向コミュニケーションに努めています。

<http://www.jaea.go.jp/O4/kouhou/>

## 広聴・広報活動

皆様の科学技術や原子力に対する理解をより深めさせていただくため、ホームページや対象者層別に作成した広報誌により研究開発活動の内容や成果をタイムリーに分かりやすく伝えるほか、報告会、外部展示会、施設見学会などを通じて、直接皆様の声を伺う双方向の交流に努めています。また、次世代を担う青少年の理数科教育への支援、協力、さらに、国民の皆様と研究者・技術者との直接対話を通じて、研究開発活動の現状と成果について理解を深めさせていただくとともに、皆様からの声を反映するため、アウトリーチ活動を積極的に進めています。例えば、皆様のコミュニティにお伺いして、ご希望のテーマについてお話しさせていただく講師派遣、皆様と研究者・技術者が科学について語り合うサイエンスカフェの開催、研究現場を体験していただく施設公開や見学の受入、子供たちに科学の魅力や楽しさを体験していただく展示施設での実験教室・工作教室の開催、学校への出張実験教室の開催などを行っています。

注目度の高い研究開発成果については、報道機関を通じて積極的に情報発信するとともに、事故トラブル時には、迅速かつ正確な情報提供に努めています。



青少年のための科学の祭典全国大会  
(2008年7月東京都千代田区)



サイエンスカフェ in リコッティ  
(2008年10月茨城県東海村)



第3回原子力機構報告会  
(2008年11月東京都千代田区)



アクアトム・サイエンスカフェ  
(2009年3月 福井県敦賀市)

## 情報公開・情報提供

機構の組織、業務及び財務等に関する基礎的な情報についてホームページで情報提供するとともに、インフォメーションコーナーにて各種資料を閲覧等に供しています。

また、外部有識者からなる「情報公開委員会」を設置し、同委員会の意見を踏まえ、法律に基づく情報公開制度が円滑かつ適切に運用されるように努めています。

## 各種報告会等の開催

[http://www.jaea.go.jp/O2/2\\_2.shtml](http://www.jaea.go.jp/O2/2_2.shtml)

原子力機構の業務や研究成果などを広く皆様に知っていただくため、各種報告会や施設等の見学会を多数開催しました。また、各種展示会にも出展しました。

### 主な報告会・見学会・展示会の実績（2008年度）

報告会等の名称	開催年月	開催場所
こども科学実験教室	2008年 4月	岡山県鏡野町
ろっかしょのしむべ!! フェスティバル出展	2008年 5月	青森県六ヶ所村
第6回敦賀国際エネルギーフォーラム	2008年 6月	福井県敦賀市
幌延深地層研究計画札幌報告会 2008	2008年 8月	北海道札幌市
J-PARC 特別施設公開	2008年 8月	茨城県東海村
産学官技術交流フェア出展	2008年 10月	東京都江東区
第3回高崎量子応用研究シンポジウム	2008年 10月	群馬県高崎市
核融合施設見学会	2008年 10月	茨城県那珂市
関西研(木津)施設公開	2008年 10月	京都府木津川市
茨城原子力体験フェア	2008年 10月	茨城県大洗町
第4回東海フォーラム	2009年 2月	茨城県東海村
第10回東濃エネルギーセミナー	2009年 3月	岐阜県瑞浪市

## 地域活動への参加

事業をご理解いただくとともに、地域の皆様に親しまれ、信頼されることを目指して、地域における各種催し・イベントに積極的に協力しています。また、清掃活動等のボランティア活動にも地域社会の一員として参加しています。

### 地域活動への参加実績（2008年度）

拠 点 名	地域活動参加延べ人数(人)	主な地域活動（実施年月）
もんじゅ	154	クリーン美浜（2008年 5月）
敦 賀	174	笙の川クリーン作戦（2008年 6月）
NEAT	6	クリーンアップふくい大作戦（2008年 6月）
ふげん	108	西浦県道清掃（2008年 7月）
幌 延	21	天塩川クリーンアップ作戦（2008年 7月）
原科研・サイクル研・本部	1,092	東海村子ども科学広場（2008年 8月）
那 珂	16	茨城原子力体験フェア（2008年 10月）
高 崎	5	地球市民の日 2008（2008年 10月）
人 形	82	上齋原ふるさと祭り（2008年 10月）
大 洗	529	銚田市うまかっぺフェスタ（2008年 11月）
東 濃	413	道の駅「志野、織部」植栽帯の維持（2009年 2月）



東海村子ども科学広場  
(2008年8月、東海)



銚田うまかっぺフェスタ  
(2008年11月、大洗)

## トピックス

### サイクル研におけるリスクコミュニケーション活動

事業に伴うリスクに関する情報を、利害関係者に対して開示し、相互に意志疎通を図ることにより、問題解決に導く道筋を探す社会的技術のことをリスクコミュニケーションと言います。

サイクル研では、2001年よりリスクコミュニケーションを取り入れた活動として、利害関係者（主に地元の住民の皆様）との少人数形式の対話や、地元の方々と協働で情報素材を作成・普及する取組を行ってきました。

2008年度は、リスクコミュニケーション活動の地元へのさらなる定着を目指すために、住民関与を取り込んだ活動が必要と考え、利害関係者代表と研究所の幹部とが意見交換をする「地域住民懇談会」を原子力科学研究所と共同で設立しました。また、核燃料サイクルの技術情報を地域社会に広めていくために、地元の方々と協働ですごろくのゲーム方式を応用した素材を開発しました。その技術情報を構成する専門用語を分かりやすく言い換える手法の研究にも着手しました。さらに、女性職員で構成する広報チーム“スイートポテト”による小中学校等への出張授業では、2009年1月に受講者数が1万人を達成しています。

今後とも、地元共生、地元との信頼関係の強化、地元の理解に基づく事業の遂行等の観点から、このような活動を推進していきます。



地域住民懇談会の様子



地元の方々と素材開発の様子



出張授業の様子